

管理番号 39

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	新鮮凍結血漿解凍装置の改良による製剤品質への影響 (FFP 解凍装置の改良による製剤品質への影響)
研究開発期間 (西暦)	2012 年度～2023 年度
研究機関名	福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座
研究責任者職氏名	教授 池田 和彦

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

- 研究の目的・意義・予測される研究の成果等
新鮮凍結血漿 (FFP) は一般的に 30℃～37℃の温湯により解凍されます。水を使用した解凍法では、製剤や周辺環境の細菌汚染に注意が必要です。
今回、水を使用しない改良型解凍装置が開発されたため、従来の FFP 解凍装置と同様に使用可能かどうか凝固因子活性や解凍時間を評価検討します。
改良型装置を使用することで、より安全で迅速に FFP の解凍が実施できる可能性があります。
- 使用する献血血液の種類・情報の項目
献血血液の種類：血漿 (規格外)
献血血液の情報：なし
- 献血血液を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名
共同研究機関はありません。
- 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》
献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。
《研究方法》
同一の FFP を複数準備し、改良型 FFP 解凍装置で解凍し、血漿中の凝固因子活性や解凍時間を測定、比較します。
- 献血血液の使用への同意の撤回について
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。
- 上記 5 を受け付ける方法
「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号 R040022

本研究に関する問い合わせ先

所属	福島県立医科大学附属病院 輸血・移植免疫部
担当者	高野 希美
電話	024-547-1536
Mail	nozomi-h@fmu.ac.jp

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。